

です。みつげられた人は又元の出發點にもどります。五回出發點にもどつた人は今度は鬼になります。鬼の側までこられた人は鬼の背中をぼんとたゞいてしらせませう。と鬼はもう一度鬼にならねばなりません。お廊下等で遊ぶ、靜かなよい遊びの一つであります。

おとぎばなし遊び 桃太郎、金太郎、花嫁爺、猿蟹合戦、浦島太郎、こぶとり爺さん等々お話を子供の演出で劇をして遊ぶのです。臺詞等は子供達に考へさせてみませう。指導を考へなくとも、自分達ではよくかういふ遊びをしてゐるものです。手技の時に、かんむり等を作つてみると一人で子供の口から臺詞が飛出し、動作がついて來るのです。種々道具も作り、出來たら、そこで先生がその子供達の臺詞を生かして、追加へなし、音楽、お歌を入れると、すばらしいものが出來上ります。皆さんをおよびして、小さい劇の會が開かれるでせう。やはりこれは年長組の遊びでないと年少組にはむづかしいと思ひます。

遊 戲

古 澤 靜 子

遊戲の指導にあたつては、大體唱歌をうたつた後に、動作をさせるものでありますから、はじめの唱ひ方が正しく指導されておなければいけないと思ひます。

歌詞の意味を理解し、歌詞のもつ情景、趣きを想起させ得る様にと取扱ふことも、勿論であります。そのみでなく、私共自身、曲を解剖し、どんなリズムが、どんな主題のもとに、どんな形成

で變化發展してゐるかをよく眺め、理解したいと思ひます。そして指導の際にその曲の正しいきざみを會得させる事に依つて、動作への關聯が比較的容易に又合理化され、活々とした歌聲や動作が生れてくるものでありませう。

マママキ 繪本唱歌冬の巻所載
隊形。二人向き合ふ。

一 節

「鬼は外」二人向き合つて一生は鬼を外へ追ひ出す様に、掌を外側にむけ臂を屈伸しながら、二生を追つて三步前進する。二生は拍手をしながら一生に追はれて三步後退する。

「福は内」今と反對に二生が鬼を追ひ出す様に掌を外側にむけ、兩臂を屈伸しつゝ、一生を追つて三步前進し、一生は反對に拍手をしながら追はれて後退する。

「パラッくくく」豆の音 各自左手を内側にまく様に曲げて豆の入物にし、右手でその豆を撒きながら（一呼間に一回づつ）自分の廻りを右に一まわりする。右手はよく伸ばして、遠くの方へパツパツと撒く。

「鬼はこつそり逃げてゆく」 「鬼はこつそり」で向き合つたまま、人指ゆびを出して、左手右手と順々に頭につけて鬼の角を出し、「逃げてゆく」の時に角を出したまゝ、駈足で二人の位置を交換する。おくれなれない様に、すみやかに行ふ。

二 節

「鬼は外福は内」 「パラッくくく」豆の音」まで一節と同じ。

「早くおは入り福の神」「早くおは入り」で、床上にある袋を肩負ひ上げる様に、二呼間で左足と両手を前に出し、次の二呼間に両手をあげて肩に擔ふ動作をする。「福の神」は袋を擔いだ姿勢で一節と同様、二人の位置を交換する。

だるまさん 繪本唱歌冬の卷所載

隊形。腕を組んで二人向き合ふ。

「だるまさんはえらい」二人向き合ひ、各自左足、右足と股を高くあげて強く踏みつける。

「轉んでも起きる」歩いて二人の位置を交換する。「る」の時に位置を交換した二人が、きちんと向き合つてゐること。

「轉んでも起きる」向き合つたまゝ、二呼間で一生は兩膝を屈膝して低くなり、二生が立ち、次に一生が立ち上つて二生が低くなる。これを交互に二回行ふ。

「轉んでもく」又一生と二生は歩いて位置を交換する。

「だるまさんはえらい」はじめの様に左足右足と股を高くあげて強く踏みつける。

これは二拍子で ♪♪♪♪ 及 ♪♪♪♪ のリズムから成

つて居り、動作を分解すると、

一、二小節 二呼間に一つの動作。

三、四小節 二呼間に二つの動作。

五、六、七、八小節 二呼に一つの動作。

九、十小節 二呼間に二つの動作。

十一、十二小節 二呼間に一つの動作といふことになる。

兄弟雀 日本幼稚園協會發行 唱歌選集所載

隊形。三人一組になり、縦に並んで両手を横に擧げ羽を擴げる。「前奏」羽を擴げたまゝ、上下に軽く振りながら三羽揃つて歩

。「小枝に小枝に」先頭の雀は手を腰にとり、後の二羽の雀は、前の雀の肩に手をかける。そして一呼間に一歩づつ、前方に歩き、三歩目に立ちどまつて、傾上の小枝を見上げる。この動作を二回行ふ。立ちどまる時は、その時間に正しく止る事が出来る様注意しなければいけない。

「兄弟雀が三羽」二呼間に一歩づつ、前進しながら、一歩毎に先頭の兄さん雀は後を振り返り、後の二羽の雀は前を向いて兄さん雀を見る。

「兄さん雀はお米好き」先頭の兄さん雀は羽（両手を横に伸ばして擧げる）を擴げて、好きた方向へスキップでとんで行つてしやがむ。その間、あとの二羽の雀はその場にしやがみ拍手をしてゐる。兄さん雀はよく氣をつけて、後の雀にすぐ見つかる場所を選んで飛ぶ。

「中の雀は木の實好き」二番目の雀が立つて、兄さん雀の後へ羽を擴げてスキップでゆく。三番目の雀はまだそのまゝ、拍手をする。

「おさんほ雀は蟲が好き」三番目の雀が立つて兄さん雀の後へ羽を擴げてスキップで飛んでゆく、その間、先に行つた雀たちは、しやがんで拍手をして待つてゐる。

「だまつて三羽が並んだ」二呼間に一羽づつ、順々に羽を擴げて立ち上り、四呼間目の「だ」の時に三羽一緒に右足を後にひくと同

時に両手を後に伸ばす。一緒に立ち上らないで、順序よく一羽づつ立つことに注意する。

「間奏(後奏)」 羽を振つて歩きながら、一番後の雀が先頭にたつて位置を交換し、大體三回繰返し行ふ。

飛行機

隊形。一列圓形になる。

「前奏」 そのまゝ聞く。

一節

「ブン〜〜〜〜ブン〜〜〜」 右を向き、飛行機のプロペラの様に、両手を交互にくるくる廻しながら、圓周上を右へ跼足で進む。

「飛行機とぶよ」 両手を今と反対にくる〜廻しながら、元の位置まで跼足で後退する。

「キラ〜〜〜〜翼が光る」 両手を真ぐ横に伸ばして翼を擴げ、始めの四呼間各自の廻りを右に一廻りし、次の四呼間反対に廻る。

「萬々歳」 二呼間に左足、右足と足踏みをすると共に、二拍手し、最後に両手を高く舉げて胸を張り萬歳をする。

二節

「ブン〜〜〜〜ブン〜〜〜」 飛行機早い」 一節の飛行機とぶよ、までと同じ動作。

「あの村あの町見る間に越えて」 始めの四呼間跼足で圓心に進みながら、両手を肩の位置より下におろし、再びなめらかに、そりかへる様に上にあげる。次の四呼間、後退しながら上にあげた

両手を前から下におろし、横に擴げる。

「雲の中」 一節と同じく、二拍手足踏みをした後、両手を高く舉げて萬歳をする。

これは二拍子で $\text{p p p p} | \text{p p p p} |$ のリズムのみから成つてゐる曲でありますから、このリズムに合はせて ♪ を一歩とする正確な跼足をしながら、両手の動作に注意したい。

觀察

清水光子

節分 節分といへばすぐ豆撒きと、たゞそれだけの行事にならない様にこの日の意味をお話としてまづきかせ度いものである。曆の上ではこの日の次からは春といふことであつてもまだ中々にさむさは緩やかにならない、けれどもうそこに來てゐる春である。どうやら空も春めいて來て日向が驚く程暖かくなる。かげぼうしをみつめてしばらくして青い空をみて影の通りに白い像が空にうつろのをみたりするのもこの頃であらう。垣根の根もとに思ひがけなく青い草をみつけるのもこの頃であらう。そんな時はまだ芽のかたい落葉樹のそばへ行つて芽の様子をみ乍らこの中には葉になつたり花になつたりする小さいものがあること大事にするやうにしやうなどゝ話し合ふやうにしたい。そして時々みつけてその芽の段々に大きくなるのを注意してゐるやうにする。

お豆を撒くのは大切な食料品をむだにするやうでどうであらうか。行事として楽しませ度い爲になら粘土が何かで代用しても充